



岡山県立笠岡工業高等学校

地域で活躍できる「人財」になろう！



自分の「好き」を未来につなげよう！



学校紹介

本校の「笠岡テクノ工房」は、モノづくりの知識や技術を活かして、地域の方々の困りごとを解決する学習活動です。モノの修理や製作、イベントへの協力など、専門科で学んだ知識・技術を実践することで、人の役に立つ使命感や責任感を身に付けた「人財」を育成することを目指しています。

学校ホームページ

学校ブログ



令和7年度に発行する市議会かさおかの表紙作成を市内の4つの高校にお願いしています。今回の市議会かさおか第185号は、笠岡工業高等学校に表紙を作成していただきました。表紙作成にご協力いただき大変ありがとうございました。



LIVE

スマホなどで議会生放送を見られます

現在、笠岡放送（株）にご協力いただき、CATVの11ch行政（地デジ112ch）で議会生放送を見られますが、地域情報アプリ「ゆめのわ」をダウンロードすることで、スマホなどから議会生放送を見られるようになります。

※議会生放送の約1か月後に録画放送も見られます。

会員登録不要で、
ダウンロードから議会生放送を
見るまで1分でできます！

【視聴方法】

1. ゆめのわアプリをダウンロード（無料）
2. ゆめのわアプリを開く。
3. ページ上部の「**LIVE** 配信動画」欄から議会生放送を見られます。

※アプリは無料でご利用できますが、通信料等が別途必要です。

Wi-Fi 環境でのご利用をおすすめします。

ダウンロードはこちらから



Android



iOS

こんな方に

オススメ!

- ・外出先で議会生放送を視聴したい方
- ・島しょ部で議会生放送を視聴したい方

くわしい視聴・操作方法はこちらから



核兵器禁止条約の実効性を高めるため、 日本政府の積極的関与を求める意見書

笠岡市は1985年に「非核平和都市宣言」を行い、以来、平和の尊さと核兵器の脅威を市民と共に見つめ続けてきました。被爆から80年を迎えようとする今、国際社会では再び核兵器の使用が現実の危機として語られる状況にあります。ロシアによる核による威嚇、世界の軍拡傾向、核の使用リスクの増大に対し、今こそ国際的な法的枠組みの強化が求められています。

2021年に発効した核兵器禁止条約は、核兵器の使用・保有・威嚇を法的に禁止する初の国際条約であり、世界の非核化に向けた歴史的な一歩です。唯一の戦争被爆国である日本は、核兵器の非人道性を知る国として、この条約の運用と実効性強化に積極的に関与する責務があります。よって、核兵器のない世界の実現に向け、日本政府が核保有国と非核保有国の橋渡しに努め、下記の事項を実行するよう強く求めます。

記

- 1 今後開催される、核兵器禁止条約再検討会議及び核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバーとして参加し、国際的対話に貢献すること。
- 2 同条約の理念と規範に賛同し、国内外の世論と被爆者の声に耳を傾け、条約の署名・批准に向けた具体的検討を開始すること。
- 3 核保有国および条約未参加国に対しても、対話と協調を通じて核廃絶の必要性を訴え、共通の安全保障の道を追求する外交努力を強化すること。

提出先

衆議院議長	額賀 福志郎	様
参議院議長	関口 昌一	様
内閣総理大臣	石破 茂	様
外務大臣	岩屋 毅	様

意見書を岡山県知事と

岡山県議会議長へ提出しました



要 請

国道2号バイパスと（仮称）篠坂スマートインターアクセス道路における
交通渋滞緩和・地域道路利便性向上・通学、通勤者などの交通事故防止対策

提 出 先

岡山県知事 伊原木 隆太 様
岡山県議会議長 遠 藤 康洋 様

概 要

《現状》

現在、福山・井原方面への道路利用と笠岡市内の道路利用が交錯していることから慢性的に渋滞が発生しています。幹線道路の渋滞を回避するため、用之江地区や茂平地区の市道へ迂回する車が多くなっており、通学・通勤時間帯とも重なり危険です。さらに、茂平工業団地には周辺企業の従業員増加や茂平地域への企業進出も2社増える見込みなど環境変化も起きており、幹線道路を利用して近隣企業へ出通勤する際の渋滞が長時間化しています。

《要望理由》

この状況のなかで、国道2号バイパスの全線開通及び（仮称）篠坂スマートインターの開通が目の前に迫っており、開通後は、状況がますます悪化することが懸念されます。交通量の増加に伴い、事故の発生も懸念されることから、道路拡張等による渋滞の緩和対策及び交通安全対策の早期実施が必要なため、要請を行いました。



補正 予算

6月の補正予算では、総額で2億2,860万円の追加となりました。

◇おもな追加予算◇



定額減税調整給付金の不足額給付

1億6,650万円

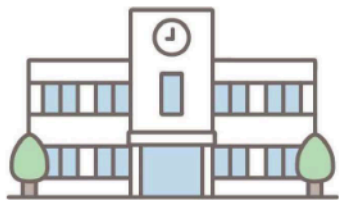
令和6年度に国の物価高騰対策として実施した定額減税において、所得税及び定額減税の実績額が確定したことにより、給付額に差額が発生した方を対象に減税額の不足分を給付します。



真鍋中学校の 災害復旧

1,310万円

令和6年5月の大雨で被災した真鍋中学校は、現在休校していますが、地域活動で使用されており、指定避難所になっているため、のり面の復旧工事を行います。



パソコンを購入

1,641万円

令和7年10月にサポートが終了するWindows10搭載のパソコンの一部について、Windows11へアップグレードすることで著しく動作が遅くなることが判明したため、業務効率化のため購入します。



大島海に見える家の浄化槽改修

770万円

大島海に見える家の浄化槽について、漏水等の改修工事を実施します。

ひと目でわかる 審議結果



全会 一致で可決した議案

【5月臨時会】

議案	
議案第49号	市長の専決処分した笠岡市税条例等の一部を改正する条例について
議案第51号	笠岡市固定資産評価員の選任について

【6月定例会】

議案	
議案第52号	令和7年度笠岡市一般会計補正予算（第1号）
議案第53号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更について
議案第54号	笠岡市公平委員会委員の選任について
議案第55号	動産の買入れについて
発議第3号	国道2号バイパスと（仮称）篠坂スマートインターアクセス道路における交通渋滞緩和・交通事故防止対策に係る意見書
発議第4号	核兵器禁止条約の実効性を高めるため、日本政府の積極的関与を求める意見書

賛成・不賛成の分かれた議案

賛成○ 不賛成●

会派		創政みらい							讃志会				みんなの笠岡			いぶき	公明党	諸派			
議員 議案	賛成 不賛成	天野 喜一郎	仁科 文秀	桑田 昌哲	大月 隆司	山下 恭司	宮崎 秀夫	村上 太志	大山 盛久	奥野 泰久	山本 聡	西山 博行	真鍋 陽子	守屋 基範	藪田 誠二郎	藤井 義明	妹尾 博之	齋藤 一信	大本 邦光	井木 守	加藤 義久
【5月臨時会】 議案第50号 笠岡市国民健康保険税条例の 一部を改正する条例について	18：1	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
【6月定例会】 「請願第8号 イスラエルの新たなガザ地上作 戦を糾弾し、即時中止を求め るとともに、国連決議にもと づく制裁の実施を国にもとめ る意見書の採択を求める請願 」を不採択とするもの	15：4	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	○

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることはできません。

ようこそ笠岡へ



全国から行政視察を受け入れました

行政視察とは、行政の施策に役立て、市政の発展や適正な運営を行うために、直面している課題などについて先進的な取組をして効果をあげている自治体へ赴き、その実情・事例を調査することです。

本市は直近1年（令和6年7月から令和7年6月の期間）で12の自治体の行政視察を受け入れました。

本市の行政視察の受入テーマは、全国各地で相次ぐ水道管の破損問題を受けて「AIによる診断技術を導入した水道管路更新計画」や、少子化によって児童生徒数が減少して学校の維持ができなくなった後の「廃校活用」などがあります。

基本的に行政視察は視察テーマに応じて担当部署が取組について説明を行います。本市議会では、行政視察受入の際に **オブザーバー** として1期目の議員を中心に他の自治体からの行政視察に参加し、本市のどのような取組が先進的な取組として注目されているのかを知り、また、その取組について理解を深めることで、議員活動へ生かしています。

まとめ知識

10年前（平成27年度）は18の自治体の受入を行い、最も多い行政視察の受入テーマは、定住促進施策（9の自治体）でした。

直近1年の行政視察の受入テーマ

（令和6年7月から令和7年6月の期間）

年月	団体	視察テーマ
令和6年7月	滋賀県米原市	農福連携
令和6年8月	栃木県那須塩原市	かぶとバイオファーム発電所
	岡山県浅口市	予算決算常任委員会
	山口県下関市	廃校活用（シェアアトリエ海の校舎）
令和6年10月	岡山県玉野市	鳥獣被害対策
	兵庫県洲本市	道の駅「笠岡ベイファーム」
令和6年11月	千葉県野田市	AIによる診断技術を導入した水道管路更新計画
	大阪府高石市	健康ポイント事業
	福岡県大牟田市	認知症施策事業
令和7年1月	熊本県長洲町	廃校活用（シェアアトリエ海の校舎）
令和7年5月	岡山県岡山市	おむつのサブスク導入
	兵庫県稲美町	AIによる診断技術を導入した水道管路更新計画

質問者

加藤 義久
かとう よしひさ



笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画実行に向けて

質 学習や生活環境が大きく変わる児童や保護者の不安を払拭する必要があること、また、小学校は地域活動の拠点であり、地域住民の理解と協力が必要であることから、事前説明会（意見交換会）を何度か実施するべきと思うが、考えを尋ねる。

答 統合する小学校校区はもちろん、統合先の小学校区にも出向き、保護者や地域の皆様と何度も意見交換をする中で、迅速かつ丁寧に取組を進めていきたい。

質 統合一年前には複式学級を単式学級に戻すことから、教員の数を相当増やす必要がある。教員の確保・配置の見込みについて考えを尋ねる。

答 統合の前年度には岡山県教育委員会の措置として、教員が一名加配されるが、全学年の対応はできないため、市の措置で非常勤講師の配置を考えている。

質 スクールバスによる送迎の必要性が想定されるが、運転手不足を訴える事業者が増えており、早めの対策が必要ではないか。

答 保護者で構成される統合準備委員会を設置し、その中でスクールバス個別部会を作り、乗降場所等について協議を重ねていく。

その他、「道の駅笠岡ベイファームの花の栽培管理状況と魅力アップ」「公共施設の在り方見直し」について質問しました。



質問者

西山 博行
にしやま ひろゆき



笠岡市における地域社会の在り方について

質 小規模多機能自治の進め方について現在の見解を尋ねる。

答 状況と課題は地域によって様々であると認識している。市民の思いや考えを伺うとともに、小規模多機能自治の在り方を御理解いただけるよう努めていく。

質 地域住民が主体的に活動しやすい拠点の在り方について、まちづくりの視点からどう考えるか。

答 担い手不足や役割の重複といった問題を解決するためにも、各地域に合った組織にするにはどうすればよいのかも含めて、まずは地域住民の意見を伺って、それぞれの地域が必要と考える拠点の在り方について検討していきたい。

県立高校の再編について

質 全国の魅力推進化が成功している事例では、行政、地域、高校の三者の協力体制が非常に重要である。三者の協力体制をどう考えているのか。

答 三者の協力体制は非常に重要であると認識している。

質 県教委に笠岡市の高校教育の未来像を強く訴えて欲しい。教育委員会の考えを尋ねる。

答 三校の学びを維持するとともに、小・中学校の取組が生かされ、笠岡の豊かな自然環境や歴史、文化、産業等を活用しながら時代を先取りし、学科の枠組みを超えた新しい発想による高度な探究学習を展開していただきたい。地域振興や次代を担う人材育成につながることを期待している。



質問者 村上 太志



下校時における
学生の安全確保について

質 登下校において、学生や保護者へどのような指導・注意を行っているか。

答 各学校において、学校安全年間計画に基づき、発達段階や地域の実態に応じて交通安全教室や防犯教室を行っている。

質 通学路危険箇所マップは作成しているか。

答 令和6年度に通学路合同点検を行い、安全対策箇所の一覧を教育委員会ホームページに掲載し、広く周知している。また、学校規模適正化計画が改定されたため、今後の統合に向けて新たに設定される通学路についても、今年度中に危険箇所を洗い出し、関係機関と早期に点検を行い、学生が安心・

安全に通学できる対策を進める。

質 本市独自の交通安全・防犯対策はあるか。

答 市所有の公用車のうち、18台を青色防犯パトロールカーとして登録しており、まちづくり課の担当職員が週2回程度、地域の方々と早朝のパトロールをしている。

また、毎年青色防犯パトロール実施者講習会を開催し、地域防犯体制の強化に努めている。

質 通学路の街灯の設置状況について尋ねる。

答 通学路に各地区が設置している街灯で管理が困難なものについて、通行上危険なところは地元と協議して対応していく。



質問者 井木 守



市民病院の
ハラスメント対策について

質 新聞報道が出て、数か月が経過した。調査の結果、ハラスメントがあったと考えているか。

答 調査を看護師60名に対して実施したところ、ハラスメントが疑われる事実があった。また、看護師複数名からハラスメント防止に関する条例に基づく申出があった。今後、ハラスメント対策委員会で調査、審議を行う。



学校規模適正化計画について

質 教育委員会は、複式学級による児童への負担や社会性を育みにくいというデメリットを強調されていたと感じる。負担によって学力に差が出るのかについて尋ねる。

答 学力に影響があるとは思っていない。一定規模の集団を確保した教育も必要だと考えている。

質 学校規模適正化計画の対象外とされている小北中学校の統廃合はどうするのか、市民の疑問の声もある。市北部に中学校を残す考えはないか。

答 矢掛町と協議しているので確定的なことは言えない。市北部に中学校を残すことは考えていない。

質 パブリックコメントでは、児童の声を聴いて、計画に反映させるべきという意見があったが、市の考えを尋ねる。

答 学校規模の適正化等、将来を見通した持続可能な教育環境の枠組みを整備することについては、大人の責任において整えなければならないと考えている。

質問者

さいとうかずのぶ
齋藤 二信



Park PFIの
活用について

質 Park PFIは、公園内への飲食店や売店等の収益施設の設置により、その収益を活用して広場や園路などの公園施設の整備を一体的に行う民間事業者を公募し選定する制度である。民間のノウハウや資金の活用によって公園管理に要する財政負担を軽減しながら、公園の魅力や公園利用者の利便性の向上を図る方法として注目されている。本市では、運動公園の25メートルプールの更新が難しい状況であるが、この制度を活用する好機ではないかと考える。今後のPark PFIの活用の可能性について尋ねる。

答 運動公園はプールなどの老朽化が進んでいるため、運動公園全体の価値を高めていくために体育施設と公園の在り方を一体的に検

討し、公園整備を進めていく必要がある。Park PFIの活用について、制度導入の事業採算性や民間事業者の参入意欲、地域ニーズの把握等を丁寧に行いながら検討していく。

笠岡湾干拓地
臭気対策について

質 笠岡湾干拓地臭気対策ロードマップが作成された。段階的かつ現実的であり、コスト面においても緻密なロードマップだと感じる。今までも臭気対策に取り組んでいるが、今回の臭気対策の特徴を尋ねる。

答 市長自ら畜産農家の社長に、臭気対策に取り組んでいただけるようにお願いをしている。現場では予算が限られているため、臭気対策に限界がある。畜産農家を含めた関係者と協議して、しっかりと対応していきたい。



質問者

やまもとさとし
山本 聡



人材交流の推進に向けて

質 交流拠点づくりやインキュベーターの育成について尋ねる。

答 NPO法人海の校舎大島東小が運営するシェアオフィスにクリエイターが集い、入居者の交流がある。また、岡山県よろず支援拠点や福山ビジネスサポートセンターも活用して、ニーズに合った相談窓口を紹介していく。

出生率上昇を目指す

地域づくり

質 地域コミュニティの活性化が出生率向上に関係しているか。

答 出生率向上に関係した明確なデータはないが、令和5年に実施したアンケート調査によると、子育てをしていく上で大切だと思うこととして家族や周囲との関わり

をしつかり持つことが最も多い結果となっている。アンケートでは地域コミュニティとの関わりを望む回答も多い。

質 子育て世代の仕事と子育ての両立を図るための取組は。

答 子供を望む人の誰もが産み育てやすい、笠岡で子育てをしてよかったと感じてもらえるまちづくりが重要だと考える。まず、経済的負担を軽減するため、本年度より第2子以降の保育料、延長保育事業や一時預かり事業の利用料の無償化を開始し、保護者が保育施設を利用しやすい環境整備に取り組んでいる。県の市町村バックアップ事業にも参画する。



質問者

仁科 文秀



本市の人口減対策について

質 令和6年度（4月～3月）の本市の出生数は何人か。また、減少している要因を尋ねる。

答 住民登録上は126人。出生数減少の要因としては、コロナ禍で婚姻数が減っていることや晩婚化など様々な要因がある。

質 本市より人口が少ない赤磐市は令和14年度末までに人口4万人を維持する目標を設定している。本市の総合計画に人口の目標数の記載はあるのか。また、重要課題として取り組むのか尋ねる。

答 国立社会保障・人口問題研究所の推計では、本市の人口は令和12年に3万8729人、令和17年には3万5203人となっている。この人口推計を勘案して総合

計画及び総合戦略に人口目標を定めていきたい。また、出生数が少ないということについて、重要課題として取り組む。

質 昨年度まで出生数が170人、180人程度だったことから大幅に減少している。人口を維持している総社市には、若い人をターゲットにした転入の推進と空き家利活用事業に重点を置いた「人口増推進課」がある。人口減少が著しい本市こそ、まちの活性化、人口対策を推進する専門の担当課、担当者を置くべきではないか。

答 少子化、シテイプロモーションは企画政策課、移住定住はまちづくり課、空き家問題は都市計画課がそれぞれ担当。人口対策は特定の課でなく、市全体で行う。

人口減少



質問者

藪田 誠二朗



笠岡市の遺産
貫読講堂について

質 歴史的に価値あるものや古いものにスポットが当てられるようになってきている。本市にも価値あるものの一つに貫読講堂があるが、使用を休止してから7年が経過し、今後貫読講堂をどのようにしていこうと考えているか。

答 貫読講堂がモダニズム建築として高い意匠性を持ち、地域の記憶に残る建物として歴史的価値を有していると評価があるが、限られた予算の中でどう維持運営を行っていくかも重要な課題である。歴史的価値や施設の現状を踏まえ、その役割や必要性について整理し、今後の方針を検討する。

臭気対策事業の
取組状況について

質 かぶとバイオファーム発電所

は国内最大級の施設である。臭気対策の一つとして期待され、持続可能な取組が注目されている。

①この施設から発生する液体肥料の笠岡湾干拓地外での活用について

②臭気対策の取組の周知について

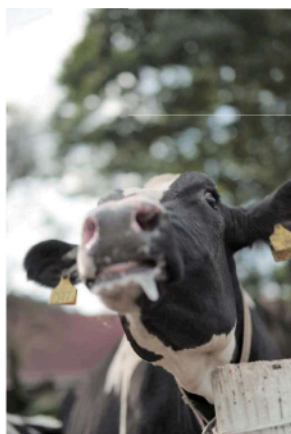
③国や県への働きかけについて

答 ①液体肥料を農地などにまいた時の効果や臭気について検証を行っており、実用化に向けて取り組んでいる。

②臭気対策の取組や干拓地の畜産業が一大産業になっていることはあまり市民に知られていない。

ロードマップを作成したことで市民、畜産農家、職員が目で見分かるということが一番大きい。取組と成果を公表しながら進めていきたい。

③今までも支援をいただいている。いろいろな相談をしながら、一緒に取り組んでいく。



質問者
宮崎 秀夫
みやざき ひでお



学校給食における

牛乳提供について

質 学校給食で提供される牛乳について、乳糖不耐症の児童や、牛乳を飲ませない家庭もある中で、柔軟な対応が必要ではないか。

答 アレルギーなど医学的対応が必要な場合や、やむを得ない理由がある場合には、個別に保護者・学校・給食センターなどの関係者で面談し、牛乳を飲まない選択ができるよう対応している。

質 牛乳の事前選択制を導入すれば、食品ロスや現場の対応の負担を減らすことができ、子供・保護者・学校にとってメリットがあると思うが、市としての考えを尋ねる。

答 現在も面談を通じて対応しており、積極的な選択制ではないが、実質は選択制になっているので、

事前選択制にすることは考えていない。

笠岡市での出産について

質 笠岡市での出産について、妊婦の移動負担や課題についてどのように分析しているか。

答 7月1日から「産科セミナーシステム」を導入する。妊娠33週までは笠岡市民病院で妊婦健診が実施され、34週以降の妊婦健診と分娩・緊急時の対応は福山市民病院が担う。福山市民病院からは助産師の派遣を受け、妊娠初期から伴走型で支援する。

質 助産院での出産という選択肢を広げていくため、若い世代への学びの機会が必要ではないか。

答 学校現場や市の出前講座など、様々な場を通じて伝えていきたい。



質問者
守屋 基範
もりや もとのり



まちづくりは
人づくりについて

質 県立高校再編について、小中高一貫教育を目指した取組が必要だと考えるが、市の考えを尋ねる。

答 県立高校は管轄が異なるため、小中一貫教育に高校を加える予定はない。本市の取組が十分に生かされるように、県立高校再編整備のプロジェクトチームに参加している。

質 高校の魅力を発信するための担当部署がないが、高校との円滑な連携が可能か。

答 今年度から対応できる体制を取っている。

質 高校魅力化の担当を企画政策課にすることは可能か。

答 企画政策課の課長がプロジェクトチームへ参加している。

質 学校規模適正化について、地域と学校のつながりの観点から、地域特性を反映する必要があると考えるが、市の考えを尋ねる。

答 小学校については、地域とのつながりが重要であるため、できるだけ地域に残すようにしている。

質 小規模多機能自治とまちづくり協議会の方向性について尋ねる。

答 小規模多機能自治については、地域の思いや考えを聞くとともに、その在り方を理解していただくよう努める。まちづくり協議会については、既存制度の見直しを含めて検討していきたい。



質 問 者
真鍋 陽子
まなべ しょうこ



不妊治療の助成について

質 笠岡市の令和6年度出生数は126人で、前年度より59人も減少している。一方で子供を望む方々から「笠岡市では少子化の議論はあるが、子供を望み自ら努力しても授けられない人への視点は足りていない。」という御指摘がある。岡山県が創設している不妊治療費助成制度を活用できないか。

答 まずは現在の治療実績や治療に対するニーズの把握に努めてまいりたい。

質 ニーズの把握はいつどのように行うのか。

答 妊娠届出時のアンケートで行う。また、可能であれば医療機関等に問い合わせながら実態の把握に努めていきたい。

学校教育について

質 ①男女別名簿を使用している学校数と、男女混合名簿への取組は。②不登校児童・生徒は適切な支援につながることができているのか。③笠岡市では、個に寄り添った合理的配慮や多様な学びの場を提供しており、不登校の減少に関与していると考えている。こういった取組を本市教育の大きな特徴として前面に出しても良いのではないか。

答 ①小・中学校全21校中3校が男女別名簿を使用している。男女混合名簿への変更について前向きに検討する。②状況に応じた支援の場を重層的に位置づけ、専門家や関係機関とも連携し、支援ゼロを目指して取り組んでいる。③必要な面で必要な形で情報発信をしていきたい。



開催 議会報告会

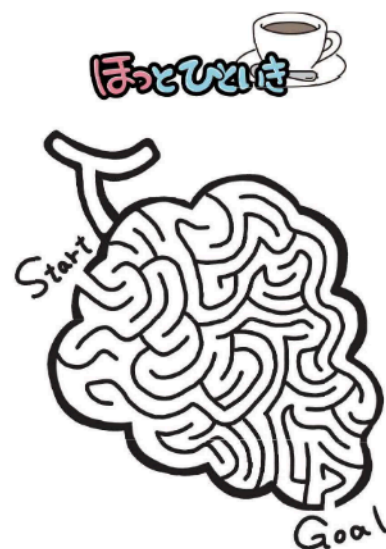
今年度の議会報告会の開催概要が決定したのでお知らせします。

開催時間やテーマなどの詳しい情報が確定しましたら、今後笠岡市ホームページや笠岡市公式ライン、市議会かさおかでお知らせしますので、ご確認ください。

市民の皆様のご意見をしっかりお聞きできるように、全力で準備を進めて参りますので、ぜひご予約おきください。

【開催日時・場所】

- 令和8年2月21日(土) 時間未定
- 笠岡市保健センター(笠岡市十一番町1番地3)
ギャラクシーホール



地方自治法における議会の役割

講師…福重
さと子
教授



実施日：令和7年6月11日（水）

場 所：笠岡市議会 議場

講 師：岡山大学大学院社会文化科学研究科
福重 さと子 教授

おもな内容

1. 国の法整備

令和5年の地方自治法第89条改正により、議会と議員の役割・責任が明確化しました。地域の多様な民意を集約し、地域社会のあり方を議論することが重要になります。

2. 地方公共団体の条例整備

法律で議会の役割を定めるだけでなく、地方公共団体が地域の実情に応じて、住民との議論を重ねながら、議会の目指すべき姿を明確化することが重要になります。

笠岡市議会では平成24年に議会基本条例を施行し、市民参加による開かれた市議会を推進し、将来にわたり市民福祉の向上のために全力を挙げて市民の信託に応えることを目指しています。

3. 議会の監視機能の強化

平成29年の地方自治法第233条7項改正により「決算の認定に関する議案が否決された場合、地方公共団体の長がそれを踏まえて必要な措置を講じたときは、速やかにその内容を議会に報告し、公表しなければならない」と定められています。

【議員の質問】決算が不認定になり、地方公共団体の長が必要な措置を講じない場合は。

【 回 答 】 必要な措置を講じさせる強制力はない。しかし、法の趣旨は、議会が地方公共団体の長を監視することに重点を置いているため、長が必要な措置を講じないことは、法の趣旨に反する。

4. 財産の譲渡・貸し付けに関する議決

地方公共団体が財産（地方公共団体が持つ土地・建物などの不動産、自動車、動産、債権など）を本来の価格より安い値段で譲渡・貸し付けする場合は、議会の議決（議会・議員の認識）が必要になります。

【議員の質問】議会・議員の認識の有無の判断は。

【 回 答 】 議会で価格について質問があったか、不動産売買の場合は不動産鑑定価格との比較が報告されていたか等が判断要素となる。



笠岡市
新任議員



総社市【市役所新庁舎】 日 時：令和7年5月16日（金）

今後、建て替えを予定している笠岡市役所新庁舎や市民サービス充実などの参考にするため、今年2月に完成したばかりの総社市役所新庁舎を視察しました。

新庁舎のおもな特徴

◇防災機能

・免震装置

震度6から7の地震に耐え、建物が損傷することなく災害対策拠点としての機能を維持できます。

・会議室（災害対策本部室）

普段は会議室として利用しますが、有事には災害対策本部が設置できる構造になっており、壁面にはモニターがずらりと並んでいます。

◇市民サービス

・ワンストップ窓口

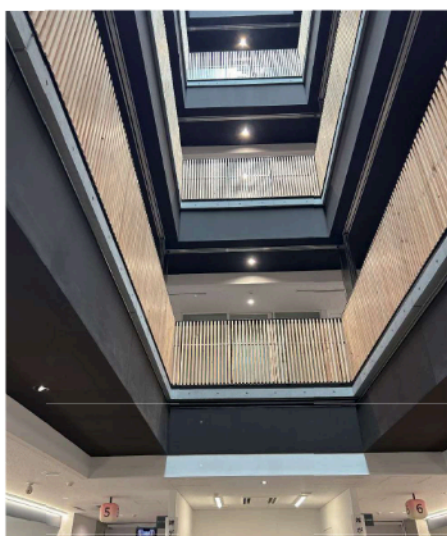
1階の正面玄関を入ってすぐの利便性が高い場所にワンストップ窓口があります。

ワンストップ窓口は各種窓口が集約しており、ワンフロアで住民異動などの手続きが完結する「書かない・待たない・回らない」サービスを提供しています。

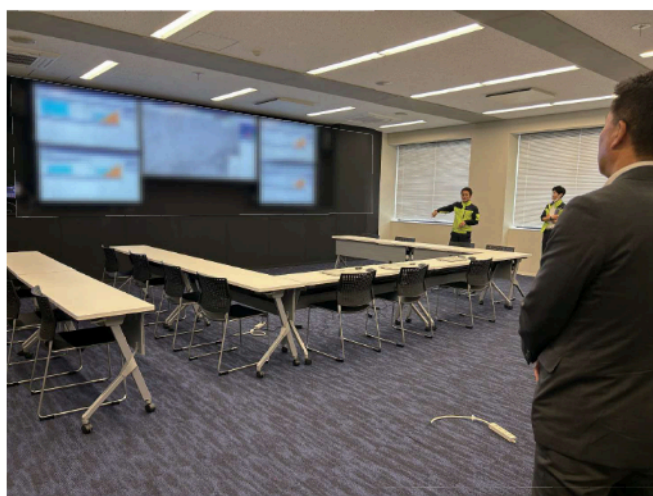
◇環境

・1階から6階まで吹き抜け

庁内全体への自然光の取り込みと自然な風の流れによる換気を行うことができます。



6階まで続く吹き抜け



会議室（災害対策本部室）

写真奥は壁一面のモニター

9月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
9/7	8	9	10 ・ 本会議初日 (議案上程ほか) ・ 総務文教委員会協議会	11 ・ 本会議2日目 (代表質問)	12 ・ 本会議3日目 (個人質問)	13
14	15	16 ・ 本会議4日目 (個人質問)	17 ・ 本会議5日目 (個人質問ほか) ・ 予算決算委員会 ・ 厚生産業委員会協議会	18 ・ 総務文教委員会 ・ 予算決算委員会 総務文教分科会	19 ・ 予算決算委員会 総務文教分科会	20
21	22 ・ 厚生産業委員会 ・ 予算決算委員会 厚生産業分科会	23	24 ・ 予算決算委員会 厚生産業分科会	25 (委員会予備日)	26 ・ 予算決算委員会理事会	27
28	29 ・ 予算決算委員会	30	10/1 ・ 議会運営委員会	2 ・ 本会議最終日 (議案採決ほか)	3	4

※赤字の会議は生放送予定です。日程は9月3日の議会運営委員会で決定します。会議は各日とも9:30から開始します。

笠岡商業高等学校へ感謝状を贈呈しました

年4回発行する市議会かさおかの表紙作成を、令和7年度は市内の高校にお願いしています。5月1日に発行した市議会かさおか第184号は、笠岡商業高等学校の生徒会の皆様に表紙を作成していただいたため、感謝状と記念品を贈呈しました。記念品は表紙をレーザー描写したアクリル板です。

この度は、表紙を作成していただき大変ありがとうございました。



笠岡商業高等学校の生徒会のお二人

QRコードを読み取ると
表紙を見ることができます。

check!



編集の窓

広報公聴委員会

委員長 天野 喜一郎
副委員長 齋藤 一信
委員 大本 邦光
大山 盛久
桑田 昌哲
仁科 文秀
山本 聡

猛暑の中、参議院議員選挙が終わり、新しい勢力図、陣容が決まりました。国政というと、市民の皆様には遠い存在に感じるかもしれません。

笠岡市議会基本条例には「市民参加の促進」という条文があり、市民の皆様のご意見や要望を市政に反映させるものとして定められています。また、請願や陳情を市議会へ提出することにより、市政だけでなく、広く県政や国政に意見や要望を伝える方法もあります。

笠岡市議会はこれからも開かれた議会をめざし、市民福祉の向上のために進んでまいります。

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。

ぜひHPをご覧ください。

